

【平成30年9月7日公開】

平成30年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

- 1 日 時 平成30年7月7日（土）午前10時から午前12時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1001学習室  
(東京都調布市小島町2丁目33番地1)
- 3 出席者 利用者 11人  
事務局 10人  
    <調布市>  
        榊文化生涯学習課長  
    <公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団>  
        吉田常務理事、土方事務局長、木村総務課長、  
        鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長、  
        常廣総務課長補佐、大割総務課副主幹、  
        土井コミュニケーション課長補佐、藤堂たづくり事業課長補佐、  
        阿部グリーンホール事業課グリーンホール事業係長

4 資 料

平成30年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会（平成30年7月7日）  
要望事項等対応表【平成30年6月27日現在】

《次第》

- 1 開会
- 2 財団挨拶 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項
- 5 懇談

## 6 閉会

### ○木村総務課長

ただいまから、平成30年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会を開会します。

本日につきまして、最初に開会、続いて当財団から御挨拶をさせていただき、その後、当財団の出席者を紹介いたします。続いて、連絡事項、その後に懇談に入らせていただき、閉会とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、「要望事項等対応表」を配布しています。

なお、本日、会場隣の部屋で音楽の練習が入っています。もしこちらの説明などが聞きづらいなどございましたら、お申しつけください。

では、当財団の常務理事の吉田から御挨拶申し上げます。

### ○吉田常務理事

おはようございます。常務理事の吉田と申します。

本日は、お忙しい中、平成30年度第1回利用者懇談会に御参加いただき、誠にありがとうございます。

御存知の方も多いかと思いますが、当財団は文化会館たづくりとグリーンホールの2つの施設を中心として、調布市の芸術・文化、コミュニティの振興を図り、市内各地域で様々な活動しています。おかげさまで、施設利用率は非常に高く、日常生活の中で芸術・文化を楽しむ方々が年を追って多くなっているということを実感しています。利用者の皆様の御意見、市内にお住まいの方をはじめ、当財団を支えていただいている専門家の方々、そしてまた商店街など、色々な方々に支えられて当財団の運営が成り立っていることに、感謝申し上げます。

平成30年6月30日及び7月1日に、第6回目を迎えました「調布国際音楽祭」が開催されました。御参加いただいた方もいらっしゃるかと存じますが、本年も非常に多彩なプログラムを展開し、小さなお子様から大人の方まで多くの方に御参加いただきました。クラシックをはじめ、市民演奏家による演奏や、街中に出て演奏するということもあり、調布駅周辺は音楽に包まれた一週間となりました。

調布駅前広場が新しくなり、商業施設が駅前にできたということで、市外からのお客様

も非常に多くなっており、調布市の芸術・文化を発信する良い機会になっていると感じています。

平成29年度からラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会2020を踏まえ、当財団でも「100年後の君へ。」という独自のシンボルマークを作り、「文化プログラム」という視点も加え、積極的な事業展開を図っているところです。

また、施設面において、利用者の皆様から文化会館たづくりのエレベーター待ち時間が非常に長いという御意見をいただきました。快適にお過ごしいただけるよう、エレベーターホールにアートの写真を飾ったり、階段の踊り場に絵を描くなど、アーティストに御協力いただきました。小さな取組ですが、文化会館たづくりに足を運んでみたくなるという方がお一人でも増えていただければと思っています。

皆様から御意見、御要望をいただきながら、満足度の高い施設にしていきたいと思いますので、限られた時間ではありますが、忌憚のない御意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○木村総務課長

続きまして、出席者の紹介です。最初に、調布市側の出席者から御紹介します。調布市生活文化スポーツ部 榊文化生涯学習課長です。

○榊調布市文化生涯学習課長

榊です。よろしくお願いいたします。

○木村総務課長

次に、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団の出席者です。初めに、改めまして常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしくお願いいたします。

○木村総務課長

事務局長の土方です。

○土方事務局長

土方です。よろしくお願いいたします。

○木村総務課長

コミュニケーション課長兼たづくり事業課長・鈴木です。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

鈴木です。よろしくお願いします。

○木村総務課長

コミュニケーション課長補佐・土井です。

○土井コミュニケーション課長補佐

土井です。よろしくお願いします。

○木村総務課長

たづくり事業課長補佐・藤堂です。

○藤堂たづくり事業課長補佐

藤堂です。よろしくお願いします。

○木村総務課長

総務課長補佐・常廣です。

○常廣総務課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○木村総務課長

総務課副主幹・大割です。

○大割総務課副主幹

大割です。よろしくお願いします。

○木村総務課長

グリーンホール事業係長・阿部です。

○阿部グリーンホール事業係長

阿部です。よろしくお願いします。

○木村総務課長

本日、進行を務めます総務課長の木村です。よろしくお願いします。

続きまして、連絡事項が3点ございます。

1点目は、お手元に配布しています出席者票に御記入をお願いします。特に座席番号の記入漏れのないよう、お帰りの際には机の上に伏せてお帰りください。住所欄には、町名、所属団体名、氏名をお書きください。

2点目は、本利用者懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音させていただきます。これを要約した形で当財団ホームページに公表し、また、財団報「ぱれっと」には抜

粹した形で掲載します。

なお、発言者の氏名は公表しません。

3点目は、本日は、午前12時までには終了させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

初めて御参加の方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会について御説明します。

日頃、文化会館たづくり及びグリーンホールを利用されている方々と意見交換し、お寄せいただく御意見等を踏まえ、より良い運営を目指すことを趣旨としています。円滑な進行為を心がけますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、懇談に入ります前に、平成29年11月2日に実施した平成29年度第2回利用者懇談会での御意見・御要望に対するその後の対応状況を説明します。本日の配付資料「要望事項等対応表」の右側の欄に、太字、下線で平成30年6月27日現在と記した対応状況の部分についての確認です。

No. 2「グリーンホールや地下駐輪場などの工事内容について、市民の声を計画に反映してほしい」という御意見をいただきました。調布市文化生涯学習課からの回答としまして、平成30年6月27日現在で、平成29年11月から平成30年1月にかけて、定期的にグリーンホールを利用している9団体の皆様と意見交換を行いました。今後も市民の声を聞く会を設けるよう努めてまいります。

次に、No. 6「コインロッカーを無料化してほしい」という御要望について、平成30年6月27日現在、調布市と協議をさせていただいた結果、受益者負担の観点から引き続き有料とさせていただきますので、よろしく御理解のほどをお願いします。

最後に、No. 9「利用者懇談会への参加希望者が参加できるよう、運営等対応してほしい」という御要望について、「参加を希望されている方に御参加いただけるよう対応してまいります」とし、平成30年6月27日現在で、今回から入場は開始1時間後までと御案内させていただいています。以上です。

まずは、「要望事項等対応表」についての御質問をいただきまして、次に、お一人ずつ個別の御意見・御要望をいただきたいと存じます。発言がございましたら挙手をいただき、発言する方を私から指名させていただく形で進めたいと思いますので、御協力をお願いします。発言の前にはお名前をいただければと思います。

それでは、まず「要望事項等対応表」について御質問ございますでしょうか。

〇〇

○と申します。このような懇談会を年2回開催されて、利用者からの意見・要望への対応、コメントを出されています。調布市に要望書を出して、回答をいただけないこともあるのですが、本利用者懇談会では対応をきちんとされ、また財団ホームページに掲載してくれています。大変良いことと思います。

実は、私が本懇談会に出席するのは、今回が初めてです。財団ホームページに掲載されている議事録などを見ますと、昨年2回にわたってグリーンホールの外階段に関する質問が活発に出ていました。その対応として、今回の配付資料と前回の資料で対応経過について説明してくださっている。これはありがたいと思います。

「要望事項等対応表」の中で、9団体の皆様と意見交換を行ったと記述されています。グリーンホールを利用している方でしょうか。グリーンホール外階段ということで、文化会館たづくり利用者は含まれていないのでしょうか。9団体の名称を可能であれば教えてください。

また、そのときに出た意見内容についても、可能であれば、併せて教えてください。

#### ○榊調布市文化生涯学習課長

平成29年11月から平成30年1月にかけて、定期的にグリーンホールを利用している、主に芸術・文化団体の9団体、また、旧文化振興課（現・文化生涯学習課）と文化・コミュニティ振興財団の職員とで意見交換を行っています。内容は、ホールの利用状況や機能などについて意見交換をしています。

9つの団体名は、調布市民謡舞踊友好会、調布市ハワイアンフラ協会、調布市洋舞協会、調布市音楽連盟、桐朋学園大学、調布フィルハーモニー管弦楽団、調布市青少年吹奏楽団、調布市老人クラブ連合会、しごと場大好きの9団体です。

意見内容につきまして、利用者の皆様にも御心配をおかけしていますグリーンホール外階段の問題が前提にありますので、現状をまず説明した上で、今後のグリーンホールに要望することや設備、施設利用に関して伺いました。団体共通の意見としては、

1, 000人以上収容規模のホールを使用しているのですが、そのようなホールが調布市からなくなってしまうと、市外のホールで活動していくことになってしまうので、引き続き調布市内で活動を続けたいという要望を強くいただいています。

設備に関しては、トイレの増設と洋式化についてです。和式の便器が多いので、洋式化を要望する声をいただいています。

また、現状では、エレベーターで2階以上に行かれず、狭いので、障害者にとっては、少し使いづらいという声をいただいています。

更に、車椅子用の座席については、座席数が少ないのではないかと御意見をいただいています。

利用に関しましては、課題はあるものの、今後もグリーンホールを継続して使用できるようにしてほしいという御要望を強くいただいています。建て直しということになれば、現在の場所にしてほしいという御意見もいただいています。

以上の御意見に関しましては、庁内で公共施設を部局横断的に所管している副市長や部長が出席している会議が平成30年2月に開催されており、その会議で報告させていただいています。

〇〇

その会議の名称は何ですか。

〇榊調布市文化生涯学習課長

「公共施設等マネジメント推進検討会議」です。

〇〇

ここで市民の声を報告した反応はいかがでしたか。

〇榊調布市文化生涯学習課長

グリーンホールを継続して使用したいという思いを受け止めていただいたと思っています。その結果を受けまして、少し先のお話もさせていただきますと、グリーンホールに関しましては、この間、駅前広場の整備と合わせる形で外階段を撤去する方向ということを一先お示しさせていただいていますが、平成30年第1回調布市議会定例会の中では、駅前広場の整備工事が終了した後も屋外階段を残したまま、当面の間、継続使用する可能性を模索していくということで、調布市都市整備部では東京都などの関係機関との協議も含め調整していくということをお示しさせていただいている状況です。

〇F

9団体の意見を聞いたというのは良いのですが、意見を聞くのみで、市として現行のグリーンホールの席数が1,300席から600席減ってしまいます。それをどのように防ぐかが重要です。現行の座席数の維持が市民の非常に強い要望なのです。このことは1年前の利用者懇談会でも取り上げられ、昨年11月の平成29年度第2回利用者懇談会でも同様のことが出て、翌週から速やかに行政として実際に動いてほしい旨のお願いをしてあ

ります。単に利用団体の意見を聞くだけに留まり、現行の1,300席を維持するために行政としてどのような動きをして、その結果、現状になっている経緯を説明していただきたいのです。単に意見を聞きましたということだけで留まっているのでは前進はなく、事態は悪い方へ向かってしまいます。その点はどのようになっていますか。

○榊調布市文化生涯学習課長

先ほど申しあげた副市長や庁内各部長が出席する庁内横断的な議論をする会議で議論しています。外階段を残したまま現状の1,300席のホールのままで、当面の間は駅前広場整備後も維持していくことで全庁的に方向性を認識しています。

○F

グリーンホール外階段を維持できることになったと、理解していいわけですね。

○榊調布市文化生涯学習課長

はい。今後はこの方向性で都市整備部と調整をしていかなければなりません。

○F

何をするのですか。

○榊調布市文化生涯学習課長

今後、都市整備部も東京都と調整をしていくということです。

○F

私どもの希望は、調布にある大規模なホールが、700席程度になってしまうのを何とか防ぐために、実際にどのように動くかということが問題であって、9団体に相談して意見を聞きましたのではなく、実際に1,300席を維持するための動きになっています。実際にその方向になったというならば、この議論は終結でいいと私は思います。

○榊調布市文化生涯学習課長

グリーンホールを維持するために、市も動いているということです。

○F

それは確かですか。

○榊調布市文化生涯学習課長

はい。

○O

利用者への情報開示について2点伺います。

1点目です。「公共施設等マネジメント推進検討会議」において、途中経過かもしれま



せんが、平成30年第1回調布市議会定例会では、そのように発表されたと傍聴し、記憶しています。それを、文化会館づくり及びグリーンホールの設置者として市民にお知らせすることや、意見交換をした9団体にお知らせすることはどこでなさるのですか。

2点目です。実は私は、「樹木を守る会」という駅前広場の樹木を守ることから始まり、駅前広場全体の大きな視野で考えなくてはいけないのではないかという運動に発展している会の者です。行政とは色々と意見交換させていただいているのですが、一番最近の「最後通告」とも言うべき市からの工事説明会というのが平成30年1月にあり、2月には駐輪場設置のため木を切られてしまったのですが、実はこのような会があります。

そのときの資料に検討項目、広場の中でまだ決まっていない項目が色々あり、これには内容に応じ、市民参加手法を用いて検討するとなっているのです。その検討項目というのが7項目あるのですが、平成30年1月の段階で、ここにもグリーンホールは出ていないのです。3月に決まって発表した手前ですから、まだ検討段階で決まっていなかったと思います。3月のものも正式のかどうかは分かりません。でも、ここでもグリーンホールの問題が出てこない。いつもグリーンホールのことは市民にオープンにされてこなかったと思います。

駅前でチラシを配布して、市民の皆さんに駅前広場のことを知らせるときに、逆にグリーンホールの外階段がなくなるのかという反応がありました。どのような方法で階段を支えるのか、初めて聞いたという人が多いのです。このように、私たちに説明する検討項目の中にも入っていない。毎年発表会などで使用していた利用者にとってはショッキングな話です。その発表会を励みに1年なり2年なり頑張ってきたと思います。突然657席になりますとか、閉館ですとか言われたらショッキングな話で、事のよし悪しに関わらず、市民の議論に付すべきではなかったかと思います。とにかく1月の段階で知らせていません。

以上、2点お伺いします。

○榊調布市文化生涯学習課長

市民にとっては、情報がオープンでなかったかもしれませんが、私はグリーンホールを所管する立場として、ホールを可能な限り維持していきたいという立場で、この間も庁内で協議をしてきました。グリーンホールに関しては、館単独ではなく、駅周辺の大規模公共施設全体の問題になってきていますので、周知のタイミングや、駅前広場の整備に合わせた形で、市民の皆様に公表していくのかということは検討させていただきたいと思っています。

ます。

現段階では、平成30年度第1回調布市議会定例会でお示ししていることが市民への最も新しいお知らせです。今後については、市民へのお知らせのタイミングや形態については、検討していきたいと思っています。

現在は当面使用していくところまでは決定しているのですが、その後については庁内で議論を重ねているところです。グリーンホールも築40年を超えていますので、10年先の築50年の頃には、大規模な改修か、更新かということも庁内で議論しているところです。

〇〇

9団体の方へのお返事は、この場でお願いします。

〇榊調布市文化生涯学習課長

私共で9団体にお知らせしたいと思います。

〇〇

私たちへの説明は、この説明であるということですか。

〇榊調布市文化生涯学習課長

はい。

〇Q

前日も出席させていただいた者です。よろしく申し上げます。今のお話に関連したグリーンホールの席数の話になります。前日も同様のことで発言させていただきましたので、「要望事項等対応表」のNo. 1に載せていただいたと思います。ただ、今の回答の中に、平成30年度第1回調布市議会定例会で「継続使用」という旨の回答がありましたが、私もウォッチしていたところ、八田調布市都市整備部長からの発言として、「継続使用」というキーワードは出てきておりました。しかし、1,300席を維持するという発言はございません。よって、「継続使用」、ただし席数は減るというのではないかという疑念を持っています。平成30年度第1回調布市議会定例会で「継続使用」の回答がありましたが、そこは調布市としても「継続使用」、1,300席現状維持が可能であるならば、そのようにはっきりと明確な形でお示しいただきたいと思っています。

なぜならば、もともとグリーンホールは、駅前広場の開発により、敷地が全部道路になることから外階段撤去の問題が発生しているからです。そうすると、現段階では、平成35年末、駅前広場の完成後は、グリーンホールの外階段を撤去しなければならないとい

う点は変わっていないという状況だと思います。市民に対して、グリーンホール外階段の問題の進捗について、調布市都市整備部などとの兼ね合いによる発表のタイミングもあるという回答もありましたが、芸術・文化の所轄として、現状の問題と、それに対する市の考え方に関する情報の発信を市からされても良いのではないかと思いますので、その点はぜひお願いしたいと思います。

○F

今の関連で、9団体の意見は聞きました。今後とも市民の声を聞いてまいりますとのことですが、市民の声を聞く今後の予定はどういうことで考えていますか。

○榊調布市文化生涯学習課長

今後については、まず9団体、利用者の方を中心に今回はお伺いしましたが、専門家の意見も聴取したいと思っています。

○F

専門家でも市民でも良いのですが、具体的に、日程はどのようにお考えなのか。具体的にお伺いしないと安心できません。

○榊調布市文化生涯学習課長

平成31年3月までと考えています。

○F

それで間に合いますか。間に合うならいいです。

要するに、「ガス抜き」で、意見は聞きましたということに留まってしまわないかというのが我々の心配なのです。意見は聞きました、それでおしまいということは役所の業務でよくあるので、そのようにはしてもらいたくないわけです。今年度中ではのんびりした話、本当に間に合いますかという懸念が出てきます。他の皆さんはどのように思われますか。それで本当に間に合いますか。財団としてもそれでいいとお考えですか。

○○

ただ、駐輪場設置工事が今、設計変更で修正設計を委託している段階です。それができているのが平成30年9月末です。それから東京都に認可申請を出しますから、今年度中に始められるかというのは、認可が下りるかどうかも分からないですし、そのようなタイミングになるのではないかと思います。

○F

そこまでお調べいただければ安心ですが、ここまで知っている市民はほとんどいな

と思います。平成29年6月であったか、提起があり、初めてこの問題を知りました。Qさんもおっしゃったように、市民に対する情報の提供が鈍いのです。それでは困りますので、行政として十分にお考えいただき、1,300席のホールは維持するという方向でぜひお願いします。

○V

今、専門家の意見を聞くというお話があったのですが、市民としても武蔵野市のホール、新宿文化センター、三鷹市、どれも老朽化しつつあり、改修など様々手を加えています。そのような事例は参考にされないのでしょうか。私などは、自分の近隣だけでも、あそこはきれいになったとか、エスカレーターを設置したとか、嫌でも目に入ってきます。専門家とはどういう方を考えているのか分かりませんが、周辺でもそういうことがどんどん行われています。そのような施設の知見などもお聞きになったらいかかだと思います。

○榊調布市文化生涯学習課長

ホールのことに詳しい専門家をお願いしたいと思っています。

○V

同じような年月が経ち、現実に様々なところで色々な改修工事が実施されています。ついでには、他館の事例を積極的に情報収集して、色々な対策を考えたらどうかと市民なりに思ってしまうます。

○榊調布市文化生涯学習課長

ありがとうございます。

○J

本日は文化会館たづくりのことで参加したのですが、今、30分経過して、グリーンホールのみが話題となっています。これで終了予定時刻の午前12時までに終わるかというのが心配ですが、グリーンホール専門委員会などつくって、関係者とそれに関心を持っている人で討議していただければと思います。これだとグリーンホールだけで今日は終わってしまうのではないかと私は危惧しています。私が目的で来た文化会館たづくりの話は結局取り扱わないまま終わってしまうのではないかと心配しています。

○土方事務局長

では、ただ今提案がありましたので、グリーンホール外階段の件はここで一区切りとし、参加者の方を一巡回していただいでよろしいでしょうか。

○木村総務課長

ここで参加者お一人ずつ御意見をいただきたいと思います。発言時間の制限は特にいたしません、先ほど御指摘にありましたとおり、全員からお話を伺いたいと存じていますので、そのように配分させていただくことを御了承願えればと思います。

それでは、Jの方からお願いします。

○J

文化会館たづくりを利用させていただいています「碁楽会」です。囲碁の研修で文化会館たづくりを利用させてもらっています。「碁楽会」は約50人の会員がいて、施設を借りるとなると、50人レベルの施設が必要になります。毎月17日に抽選の申込みをしないわけではないので、最大限の申込みを抽選に申し込んでいるわけなのです。その結果が、平成29年度については1001学習室、1002学習室を82%使用しています。抽選に外れたのが3回ぐらいあるなどの状況になっています。

抽選を毎回実施するというのは大きな負担です。もし17日に私に所用があったら、抽選ができず、後日になり、当選しなかったなど色々な問題点があります。約82%使用している状況なので、何かしらの便宜を図っていただいて、抽選ではない方法で利用させていただければという考えで本日参加させていただきました。

○大割総務課副主幹

お答えします。まず、日程の件について、17日から翌月の15日まで申込みができますので、いずれの日に申し込んでいただいても当選確率は変わりません。約1か月間の猶予がありますので、必ずしも17日でなくても良いということでもあります。

また、よく利用される方について便宜をとということでありましたが、利用方法における随時申込みと抽選申込みについては「調布市文化会館たづくり条例施行規則」で定められていますので、私どもとしては本条例施行規則に従って抽選をさせていただくということで、御理解をお願いいたしたいと思います。

○木村総務課長

よろしいでしょうか。

○J

条例施行規則で決まっているということであれば仕方ないです。

○M

Mといいます。私はグリーンホールの件で度々本懇談会で発言していますし、市長や調布市文化協会のメンバーとの懇談会がありましたし、グリーンホールの説明会のときもあ

りました。まず話の中で、グリーンホールは5年間、先ほど平成35年の駐輪場が完成するまでという話もありました。また、おそらく10年ぐらいは現状のままで何とかやれるように検討しているということをおっしゃられた記憶もあり、10年ぐらいは大丈夫という記憶があります。

このことに関しては、1年の間にグリーンホールの基本、今後の在り方について検討するために、市民の意見を聞く場を設けると言われて既に半年ぐらい経過しています。これは先日の市長との話で、近々具体化するように検討しているということをおっしゃられたのですが、市民の意見を聞くというのは聞きっ放しだよ、聞くしかないよ、聞くだけだよという聞かれ方をされても、先ほど皆さんから言われたように全然意味を持たないわけなので、それが市の行政施策に反映できるような意見聴取の仕方を検討してもらいたいと思います。

あとは、先ほど「公共施設等マネジメント推進検討会議」の部門と言われましたが、管理計画が出されて1年以内に実施計画が出されるはずですが、そのところでもそれぞれのセクション、公民館の部門でもそうですが、全体的にはこれから市民が増えるわけではなく、人口は高齢化していく、税収は下がっていく、建物は改修しなければならない時期に来ている。今のままでは絶対足りないという危機的な話を聞きながら、このマネジメント計画の中では一個一個の改築はできないから、複合化、統合化だとかという話の中で、公民館と文化会館たづくりが複合施設になったように、またまとめてやる中で使い勝手の難しいものになっていくとなると非常に困ると思います。

専門家に聞くのもいいのですが、これまでもグリーンホール建築の際も専門家の意見で設計してきたのも事実ですし、文化会館たづくりの場合も、最初に基本的なところが固まっています、市民の意見が大きく反映されたかということ、なかなか疑問の残るものだったのではないかとということで、早目に意見を聞いて、市民の意見が反映されるようなものになってもらいたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

また、文化会館たづくりにおける授乳施設やベビーカーの置き場の案内が不足しているように感じ、希望している来館者が利用するのに困っていると思います。

更に、杖を置く場所を文化会館たづくり館内のトイレに設置していただきたい。細やかな配慮をお願いいたします。

○木村総務課長

今、大きく2点御質問をいただきましたが、前半のグリーンホールについてはいかがですか。

○M

結構です。

○木村総務課長

では、後半の文化会館たづくりの利用について回答します。

○大割総務課副主幹

授乳室などの御案内が不足しているというのは、御指摘のとおりかもしれませんので、今後は利用しやすいように御案内を徹底します。

また、トイレ内部の杖を置く場所について、障害者優先トイレ内と男子トイレの小便器のところに各1か所設置しています。ただ、全てに設置していませんので、今後計画的に整備を進めてまいりたいと考えています。

○木村総務課長

よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、Oの方、お願いします。

○O

またの機会にします。

○木村総務課長

では、Pの方、お願いします。

○P

グリーンホール600席減反対の根拠について、現在の利用率や、年間利用日数、来場者数率で、根拠を持って減少というのはあるのでしょうか。例えば、必ずしも大きなホールを維持しなくて、小さくなっていくということが別に反対ではないのです。というのは、規模の大きいホールですと光熱水費がかかるでしょうから、コンパクトにすることで税金の投入が減っていくということなら良いのではないかと思います。

また、耐震関連にお金を使うことは決して悪いことではないなと思います。席が減少した分だけ、例えば日数を増やすとか、そういうことで対処できるのではないかという見通しがあって席を減らすということなら、余り悪くはないのではないかと思います。ただし、税金が浮いた分を、例えばオリンピックやパラリンピックにおいて調布市も応援しましょうとか、そういうことになると反対です。東京オリンピックは、過去5回のオリンピックの総額2,500億円とほぼ同じぐらいかかっているのです。ロンドン大会で550億円、調布市がオリンピック・パラリンピックに税金をかけるよりは、市民に直結したことにかけて、席数を減らすことは決して悪いことではないなというのが私の意見です。

○木村総務課長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。それでは、Qの方、お願いします。

○Q

別の方をお願いします。時間がありましたら発言します。

○木村総務課長

では、Rの方、お願いします。

○R

私はランチを食べに、文化会館たづくり12階レストランを利用しています。眺めも良く、味噌汁がおいしいです。ただ、メニューが余り変わらないので少し飽きてきてしまいました。調布市や長野県木島平の野菜を使っていると書いてあるので、ヘルシーなものだと思います。たまにはハンバーグやウインナー、リゾットなどを展開していただきたい。最近と同じものの繰り返しで飽きてきてしまったので、もう少しメニューを充実させていただきたいです。

○土方事務局長

メニューが増えた方がいいとお考えですか。

○R

そうです。

○土方事務局長

お伝えいたします。

○T

Tと申します。私たちの団体は減額団体にさせていただいて、会場半額というのはとてもありがたく思っています。また最近、参加費の徴収や、物品販売も届け出ればできるということになり、良くなりました。要望したいことは、設備の借用品料です。マイクや照明が減額にならないので、そちらの方が会場費よりも負担が大きい。要求すれば切りがないと思われるかもしれませんが、市民団体はお金がないということを考慮いただき、そちらもぜひ検討していただきたいと思います。これは私たちだけではなくて、他の団体から同様の要望がありますので、ぜひ御検討をお願いします。

また、文化会館たづくりについてではないのですが、調布市文化生涯学習課長がいらっしゃるので質問します。非核都市宣言の平和のプレートの英訳が平成30年6月頃できるということですが、どうなっていますか。



○榊調布市文化生涯学習課長

英訳は固まりまして、市議会の宣言ですので、議員一人ひとりに確認を取っており、確認が取れましたら印刷をする予定です。また御連絡します。

○T

市議会は閉会していますが、次の議会まで待つのですか。

○榊調布市文化生涯学習課長

現在、議員個別に確認を取っています。

○T

ありがとうございます。楽しみにしています。

○V

グリーンホール外階段がなくなり、ホールが小さくなるということで、どれくらい稼働しているのか、確かにそれも知りたいことですが、私の娘などが学校などでよく利用していました。合唱祭などではあの規模のスペースが必要です。また、色々な学校が、卒業式や学校行事でよく使っているという感じがあり、先ほど減るのは悪くないという意見もありましたが、やはり減ることは困るだろうと思います。

また、他の参加者から指摘があるように、市民に問いかけるような情報がないです。私はたまたま調布駅前のごとで関わっていたものですから、グリーンホールの外階段の撤去や、縮小されるという情報が入ってきたのですが、他の市民は何も知らされていないです。情報をもう少し市民に的確に伝えていただきたいということと、老朽化でいずれ何とかしなければならぬのであれば、こういうことがいずれ起きるが、市民の声をあらかじめ聞いていくなどして、多くの市民が満足いくような形にしていだけたらと思います。

今一番ひっかかっているのはグリーンホール外階段です。階段が残るか残らないということと、今つくろうとしている駅前広場は、外階段が残るとしても、ロータリーができてしまうと、上にかかる屋根と通路の間が40cmしかない。外階段が残るのも良いですが、駅前広場やロータリーとしては非常に使い勝手の悪いものができそうです。グリーンホールの関係者は、把握しているのでしょうか。

○榊調布市文化生涯学習課長

駅前広場の協議内容も全部聞いています。

○V

一市民として、グリーンホールの外階段は残してほしいですが、残った後、今度はロー

タリーができてしまったら、たった40cmのところでは通行するという感じがあるので、何か疑問が色々生じます。それで、色々なことが聞けるかと思ひまして、本懇談会へ参加しました。

○X

Xと申します。先ほど、文化会館たづくりのトイレの話が出ていたのですが、私は膝が悪く、両膝サポーターを使用しています。トイレによってつかまるところがない。しゃがむのも立ち上がるのもとても大変ですので、ぜひ早急に対応していただきたい。同様の要望を抱いている利用者は多くいると思います。

和式が空いていても、洋式がなければ私は入れないので、洋式が空くまで待ちます。和式はもちろんつかまるところがないと困ると思いますが、洋式も付いているところはあるのです。トイレを全部見たわけではありませんが、ないところもあるのです。だから、立ったり座りがしやすいようにしてほしいのです。

次に、先ほど物品販売と言ったのですが、その著者の本を販売していいと聞いたのですが、それは文化会館たづくり全ての施設ですか。映像シアターは可能ですが、他は異なる話を聞きました。映像シアターのみでしたら、他の施設で講演会を実施したときも、その著者の本を欲しい方にお分けできるようにしてほしいのです。

次に、先ほど設備費のことが出ていましたが、本当に高いです。施設利用料が半額になるのは良いのですが、講師が来て、学習するときに、プロジェクターを使うのは今時では当たり前というか、標準仕様であると私は思います。それを利用するのがとても高いのです。

一昨年、文化会館たづくり11階の施設を使ったときに、プロジェクターに3,000円近くかかり驚きました。10階の施設を使ったときは、プロジェクターの小が900円でまだ良かったのですが、マイクロホンセットで1,400円、その前が3,000円近かったもので、ここはまだ少し安いとほっとしたのです。つい最近ですが、映像シアターで、講師の方を2人招いて利用したときは4,900円も必要でした。固定プロジェクターであるのに2,000円も必要です。ハンドワイヤレスマイクが1,500円で拡声装置が500円、CDレコーダー500円、マイクスタンド100円、全部で4,900円もかかっています。

講師の方で、お一人はプロジェクターを使わないでやるのですが、もう一人の方に、できればプロジェクターを使わないで実施してくださいとお願いしたのです。2,000円

もかかるので控えてくださいとは言えなかったのです。

サポート事業なので、講師料は年額4万8,000円まで、1回に2万4,000円までなのです。ましてや講師の方2人に1万2,000円ずつなどできないので、2万4,000円は自分たちで工面しなければいけないのです。お一人は、名古屋から来てくださるのに、交通費もお支払いできない状況で、その上4,900円で、もちろん会場費も払っています。これでどうして市民が学習や活動ができる場と言えるのですか。とても市民が利用できる状況ではないですか。

色々学習したりするときに、マイクなどは必要なものです。もしなかったら、きちんと学習できない、活動できないのですから、無料でもいいと思うぐらいです。今まで有料のものをすぐに無料にはできないでしょうから、せめて半額にしてくれないと、何のために文化会館たづくりがあるか分からないです。市民が色々学習したり、活動したりするためにあるのです。そのために税金が使われています。会場もなかなか取れなくて大変というものもあるのですが、その上、会場費、設備費はかかる、これでは市民の活動のための場所ではないではないですか。そういう点をきちんと考えていただきたいのです。こんなのでは私たちはやっていられない。私はすごく頭にきていますので、それをお願いしに来ました。頭にきているというのはおかしいですが、冷静に考えてもこれはとても市民のための施設、設備とは言えないと私は思います。

若者はお金がないし、高齢者もお金がありません。働き盛りの人も色々お金がかかるからお金がない状態なのに、せめて公共施設では、利用者が色々しやすいように環境整備するのが本来の仕事であると思うのに、このような状況ではと私は思います。一体市の役割は何であるのか、よくお考えになってしてほしいと思います。それを言いに来ました。

○大割総務課副主幹

お答えします。文化会館たづくりにおけるトイレの中の手すりの件です。仕切りの材質にもよりますが、手すりが設置できる場合とできない場合がありますが、1フロアのトイレの中に最低でも1か所は手すりを設置したいと考えていますので、至急対応させていただきたいと思います。

次に、2点目の物品の販売というのは、正確に申しあげると、当然御存知かと思いますが、例えば講演会をされる場合に、その講演の内容に直接関連した書籍などとさせていただいています。いわゆるホール系施設のみということにさせていただいています。

なぜならば、全部の施設、例えば会議室系施設でもできるということにすると、事実上、

物品即売会みたいなことが行われて、私たちのチェックが行き届きません。ホール系施設についてはスタッフが付いているので、中身を確認できるということで、ホール系施設ではできるということにしています。

○X

では、あらかじめ届けて、職員の方に来て確認してもらえば、他の施設でもできる可能性はありますね。

○大割総務課副主幹

大会議場、映像シアターでもできます。

○X

大会議場とかではなくて。

○T

学習室でもできますか。

○大割総務課副主幹

学習室では、当日何が行われているかのチェックができないので、事前にお届けいただいてもできません。

○X

事前に届けて、当日職員の方が来てくだされば。

○大割総務課副主幹

現状ではそれはできないということにしています。

○X

今はそうですよ。でも、職員が来るような体制にすれば可能なのではないですか。今できないならば、職員が来て、確認して、できるような方向を考えてほしいのです。

○大割総務課副主幹

そのようなことは、少し現実的ではございません。

○X

なぜですか。

○大割総務課副主幹

文化会館づくりは、施設が40以上ございますので、それら全てを毎区分チェックするということは現実的ではないからです。

○X

届け出のあったところということですか。

○大割総務課副主幹

ホール系施設のみとさせていただきたいと思います。

○X

でも、今すぐに叶わなくても、将来的にはそういうこともきちんと視野に入れて考えていただきたいです。

○T

その意味を考えてほしいということですよ。市民の学習活動が潤滑にいくように考えてほしいということです。

○X

そうです。そういうお話を聞いて、もっと本を読んで、深く学習したいと思っても、本をその場で手に入れていただくのが一番いいのです。後で書店に探しに行ったり、インターネットで注文するよりは、一層学習者の利便性を図ることになると思います。だから、今、人手の問題で対応できないという現実があるかもしれないのですが、それが可能になるような方法を色々考えていただきたい。そういうために皆さんはお仕事をなさっていると思うので、ぜひ御検討ください。

○大割総務課副主幹

御意見として受け止めます。

3点目の設備の料金です。先ほど抽選の件で申しあげましたが、条例及び条例施行規則で定められていますので、料金については、設置者として調布市で総合的に検討されるべきであると思います。

○X

今、現状ですぐにはできないのですよね。だから、先ほども言ったように、市民の利便性を図る方向で、例えば条例を見直すとか、市に働きかけるとか、そういう動きをしてほしいということです。もちろん料金を安くする、半額、減額制度にするというのも1つの手です。もちろん全体で料金を大きく下げてくださいればそれもいいですし、何らかの形でできるだけ負担を減らしてほしいということです。市民が学習しやすいようにしてほしいということです。それでこそ、ここに文化会館づくりがある価値があると思うので、よろしくをお願いします。

○O

条例であるので、陳情を出すという方法もあります。

○X

分かりました。ありがとうございます。

○C

Cと申します。本懇談会に参加するのは初めてです。

現在、毎日のように利用しているところが文化会館たづくり8階の学習室です。それについての話が1つです。もう1つは、「映画のまち調布」のシネマフェスティバル（旧称：調布映画祭）の件で意見があります。

まず、文化会館たづくり8階学習室について、通路などで利用者が話をしている声が時々聞こえてきてうるさいと感ずることがあります。マンションの騒音問題のような感じなのですが、上の階の音は机を動かしているなど、ぼしんぼしんという音が時々すごく響きます。あれは一体何なのかと思っているのですが、その点を改善していただきたい。見当はつきますか。

○大割総務課副主幹

9階の研修室の利用の仕方によって、机を動かしたりすることがありますので、おそらくその音ではないかと思えます。

○C

学習室の受付スタッフが静かにするようにと付近を通る人たちには言うのですが、上階の音なので、何か分からないでしょうから、それを何とかしていただきたいです。

また、建物全体に関わるものとして空調の問題があります。本日、なぜ本懇談会会場の入口扉が開いているままになっているのか分からないのですが、建物全体として温度設定は一律化されているのですか。部屋面積により設定温度を変えないと耐えられなくなります。そういうのはどのようにしているのですか。

○大割総務課副主幹

空調は、各部屋で温度設定ができるようになっています。ただ、省エネの問題等があり、お客様の側では設定できないようになっています。中央監視室で、基本的にはシステムで管理しているのですが、各部屋の温度をスタッフが常時監視しています。高過ぎる場合は、こちらで下げるという操作をしています。

○C

中央監視室は何階にあるのですか。

○大割総務課副主幹

1階です。

○T

中央監視室に電話すれば、調整していただけますか。

○大割総務課副主幹

学習室の場合は、学習室の受付の者にお伝えいただければ対応します。

○C

ただ、位置によって異なるかと思うので、寒がり、暑がりな方様々いらっしゃるのでは、難しい問題ですが、とにかく1階中央監視室で管理しているということですね。部屋の温度まで分かるのですね。

○大割総務課副主幹

そうです。

○C

部屋の温度と言っても、設置している位置によって感知する部屋の中の温度は変わると思います。だから、専らそれで判断されるというのも少し困ります。

○大割総務課副主幹

当然そうなので、暑い、寒いなどをおっしゃっていただければ、その都度調節します。

○C

とりあえず分かりました。

次に、学習室内部のマナーの問題です。社会人の場合、20席あり、3人掛けと2人掛けが並んでいる状態です。そこでのけ反った体勢でパソコンを使用している人もいます。体型も大きいので、その方がいると後ろを通れません。また、溜め息をしばしばして、うるさいですし、横を通るとき、がたがたやっています。パソコンを携帯している人が最近多いのが原因で、荷物などが通路に放り投げてあり、通れません。本人は踏んで歩いているみたいですが、こちらは気を使いますから、マナーがとても悪いのです。受付で説明がありますが、そこまでは触れていないのです。ある意味で常識的な部分だと思いますが、今の人、特に若い人にそういう傾向が多いので、そのマナーも加えていただきたいです。受付の方にお伝えするよりは、本懇談会の場で伝えた方がいいかと思いましたので、お話しした次第です。

○大割総務課副主幹

注意喚起をしてみたいと思います。

○C

それを話したかどうかというのは、私は知ることができますか。伝えてどうなったのか、自分が言った意見に対するフィードバックはどうなっているのかということが分からないので、いつそういう話をしていただけるのか、あるいはしたら私に連絡が来るのか、どのように待っていただければいいですか。

○大割総務課副主幹

もし御希望であれば、御連絡先を教えていただければ、お知らせした段階で御連絡します。

○C

メールで返事をもらうことはできますか。

○大割総務課副主幹

記入しておいていただければ、御連絡します。

○C

では、文化会館たづくり学習室については以上です。

「映画のまち調布」のことで、これから色々な施設が使われていくと思いますが、今年からシアタス調布が加わり、昨年度開催がなく、来年3月から新しいスタイルで復活するというとても楽しみにして、その関係のPRも色々なところに出ていて非常にうれしい限りなのですが、中身を見ていると、市民の投票というものがあります。市民の投票というのが実際にどういう形で反映されるのかということが全然載っていません。

また、10月1日公開の日本映画となっているのですが、10月1日初公開ということは、実質的には9月に初公開になり、10月にも公開されている映画もあるのです。そういうのは対象外だと思いますが、普通の市民の方は公開時期など考えないで投票してしまうのではないのでしょうか。あるいは、シアタス調布で上映された映画は、こういう映画が今までにありましたということで載っているのですが、メジャーな作品ばかりずらりと並べて、そこから投票されても、毎日新聞や、読売新聞、日本アカデミーなどで選出されたのと同じような作品が出てきて、それをまた調布映画祭で実施しても調布の個性などは出ません。

今年からリニューアルされるのであれば、シアタス調布と連携するだけでなく、映画業界が調布に多いので、関連企業の人の話を聞いたり、関係資料を展示したりするだけでは



何のこともないのです。今まで何を検討してこのような結果になっているのかというのが全く見えないのです。しかも、こんなことを言っては何なのですが、今までもそうだったのですが、上映作品を決めるときに、どういう人が決めているのかと思います。

例えば、多摩市で開催される映画祭「映画祭TAMA CINEMA FORUM」はかなり個性があります。市民も参加して、自主映画5本ぐらい上映して、そのベスト1の投票に参加したり、それは多摩に集まって来た作品の中から選ぶのですから、多摩市の映画祭でなければできないことなのです。調布にも似たような短編映画祭のようなものがあり、10本ぐらい来るのがありますが、短編映画祭を見る目は、それはそれで見ている目を育てた人が選ばないと選べないのです。

そういう意味で、いわゆる日本公開映画を選ぶ、その中のベスト10を選んで、トップの人には俳優や監督を呼んでレクチャーしてもらおう。それを実施しても、毎日新聞や読売新聞と同様のことを実施して、どこに調布の良さが出るのかと、私は腹立たしくなっているのです。このような調布映画祭を実施するのであれば、もし多摩市の映画祭と同日に映画祭があるのだとしたら、私は調布映画祭には出ないで、多摩市の映画祭に行きます。

一体どういう人が企画を立ててやっているのか、どこに調布の個性を出しているのか、映画会社が多いから、その人から話をしたり展示してもらえば、それで調布の個性なのか、あるいはシアタス調布ができたから、それを参加させれば調布の個性なのか、一体何を考えてこんな企画になっているのか、私にはさっぱり分からないのです。

市民から募集をするときに、これが果たしていいかどうかは分かりませんが、1つの例として言いますと、ラブストーリーベスト10、心に残る映画ベスト10、10代から30代までの人が選ぶベスト10、40・50代が選ぶベスト10、60代以上の人を選ぶベスト10、それから年間100本以上見るコアな映画ファンが選ぶベスト10、10から100本ぐらいの中ぐらいの映画ファンが見るベスト10とか、10本以下のそんなに年間で映画を見ない、ゼロの人も随分いると思いますが、そういう人が選ぶベスト10などというように分けないと、答えは結局日本アカデミー、読売新聞などと同じ結果になるのです。答えの分かっているものに市民を参加させ投票させて何の意味があるのかと思います。

少なくとも、この計画を立てているときに、市民の有志を募るとかそういうことはないですよ。ありますか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

今回の映画祭は、これまで市民の実行委員会が選んだ作品を28回ほど上映してきました。映画企業が多く集積しているというのが「映画のまち調布」の特徴であり、今でも40社ほどが市内に集積しています。まずは映画産業、映画でお仕事をされている方のお話をお聞きし、調布のまちにとってどのような映画祭が独自性を持ったものができるのかというところから考えました。

当然、市民の方々と我々も色々なお話をしながらも、過去の映画祭において、市民からこういった御要望もありますということも、現にお話の場でもさせていただきながら進めている段階です。

○C

では、市民も参加しているのですか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

実行委員会形式で実施しており、委員長は調布市民の方です。

○C

市民と言っても、役所の実権があつて市民でしょう。皆市民なのです。私の言う意味での市民はそのようなものではないのです。御理解いただけますよね。市民一般の方の参加という意味です。そういう人が参加して決めているのですか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

現時点で、おっしゃられている一般の方は入っておりません。

○C

映画に対する見識をどの程度持っている人たちが決めているのですか。一体あなたは何本見えていますか。あなた自身は、昨年一体何本見ましたか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

私自身は、月に2から3本ぐらい鑑賞しています。

○C

話にならない。私は180本見えています。私はキネマ旬報友の会に入っています。30人ぐらいメンバーがいますが、100本以下の人はいません。皆200～300本見えているのです。そういうたくさん見ている人が加わらなかつたら、当たり前の結果しか出ないのです。それに映画産業がこのまちにあるからといって、そのような人のレクチャーを聞いても何の役にも立たないです。本当に映画のことを考えているのでしたら、もっと映画を愛してください。埋もれている映画の中からこそいい映画があるのです。そういう映画

を拾ってください。月に2、3本しか見ないような人が何人も集まっても良い映画祭は生まれてこないです。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

それは私の話なので、実行委員会、あるいは参加されている方はもっと映画を見られている方もいらっしゃると思います。決して私がリーダーシップをとっている事業ではございませんので、私は所管としてもう少し映画を見るように一緒に勉強させていただきます。決して月2、3本見ている方が集まっているわけではありませんので。

○C

しかし、選ぶ人間の一人でしょう。2本しか見なくてどうやって選ぶのですか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

今回、映画を選定するのは、市民と映画制作技術者です。シアタス調布のリストがありますが、それ以外の映画作品も当然受け付けています。

○C

年間1,000本上映されるのです。

○P

すみません、議論のバランスが少し偏り過ぎていませんか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

分かりました。ありがとうございます。

今色々いただいた御意見は何いしましたので、また実行委員会で御相談させていただきます。

○C

そのフィードバックはどうなりますか。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

御連絡させていただきます。こういった会議の場でこういったお話をさせていただいて、その場でこういった結論に至ったという経過についてです。

○C

経過ではなくて、私の意見を入れてほしいのです。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

そこはお話しさせていただきたいと思います。

○C

そうでないと、調布映画祭など出ません。酷い映画祭であると皆に言うておきます。

○F

Fです。

本日の「要望事項等対応表」No. 9で、入場は懇談会開始1時間後までとされましたが、これはおそらく前回、議事が済んだ後でも、10時から12時までの予定でしたら、12時までには財団及び市の関係者は残っているという発言があったからの対応だと思います。入場は懇談会開始1時間後までとされた理由が分かりません。懇談が終了するまでは入場できるようにしないと少しおかしいのではないかというのが私の意見です。

また、毎回開催時刻になるとドアを閉めていましたが、私が常時開放してくださいとお願いしたのは、遅く来られた方が、ドアが閉まっていると入れないと思ってしまう可能性が高いので、開放するようにお願いして、本日対応していただいています。これは本当にありがたいことで、今日も30～40分遅れて来られた方がいらっしゃいましたが、閉まっているのと、開放しているのでは異なりますので、今後も終始開放し続けていただきたいと思います。

No. 3の利用者懇談会の開催日時を選定ですが、前回、本懇談会が17年前から始まり、データも揃っていると思うので、日程設定と参加者数のデータを調べ、開催日、時間をお決めいただきたいというお願いをしました。今日10時から12時までになったか分かりませんが、調査結果がどうだったのかということです。

4番目は御礼ですが、映像シアターのスクリーンでの上映の縦横比が狂ったままになって、4:6、12:9が混じってゆがんだ映像になっていることがしばしばありましたので、何とかしたいということで、事務局長にお願いをしたら、担当の方が非常によく対応していただきました。私宛に毎回メールで、これでよろしいでしょうかと案ができるたびに送っていただいて、私が気づいたことは全部お答えして、それを全部取り入れて、立派なマニュアルをお作りいただき、映像シアターを使用される市民カレッジの講師の方も使いになれるような立派なものことができました。これは本当にありがとうございました。私としては非常によくやっていただいたということで感謝しています。以上3点です。

なお、「要望事項等対応表」の書式については、私の指摘で直っていましたので、これは結構でございます。

○常廣総務課長補佐

2番目の利用者懇談会の出席の関係と3番の開催日時の選定の関係についてお話をいた

だいています。

まず、入場は懇談会開始1時間後までと、今回、御案内させていただきました。前回参加された方から、所用があり少し遅れて来てしまったが、そのときに既に終了していて、職員が誰もいなかったというお話をいただきました。利用者懇談会は、これまでの流れとして、最初に前回の振り返りを行い、その後、その内容についての意見交換をし、皆様に発言していただくのに、ここ2、3年ぐらいは1時間ぐらにかかるといった内容で行ってまいりました。

また、1時間後以降にお見えになった方は、それまでの話の経緯が分からないこともありましたので、御案内には1時間までにお越しく下さいと案内の上、開催いたしました。ただ、本日もそうですが、扉を開けたままにしますし、仮に懇談会が2時間よりも前に終わったとしても、職員は全員引き上げるのではなく、会場に残る形は取りたいと思っています。1時間後までと記載していますが、それ以外は一切受け付けませんなどの意図ではございませんので、御理解の程よろしくお願いいたします。

また、利用者懇談会開催状況について、まず、御存知ではない方もいらっしゃると思いますので、お伝えします。利用者懇談会は平成17年から実施しています。年2回開催しており、1回目は6月又は7月ぐらいの時期の土日午前の開催というパターンです。2回目は、11月ぐらいの時期の平日夜間の時間帯に開催しています。土日午前の時間帯というのは、比較的参加されやすいと考え、設定しているのと、2回目を平日夜間に開催しているのは、仕事帰りの方が立ち寄りやすいように設定しています。

参加者の傾向として、数字はありますが、平均で見ると、1回目は1回の平均が7.6人、2回目は11.1人になっています。ただ、このように開きはあるのですが、実際に見ていくと、平成19年に、一回に御参加いただいた人数が23人というのが1度ありました。それ以降は右肩下がり傾向になっていると見ています。

今回についても、過去には時間を30分ずらすなどの工夫もしてみましたが、今回は、前回の続きということもありましたので、本日開催しています。定例のパターンでお越しいただき、開催週を前後させたりなどして様子を見るという意味でも、今回は本日程で開催させていただいています。

○F

今日は珍しく11人、久しぶりに多くの方が参加されています。前回は3人で、非常に効率的な話ができたとということで、せっかくの懇談会ですので、なるべく参加者を増やし

たいと思います。

○Ｑ

「要望事項等対応表」No. 1・2に関連する内容です。まず、冒頭常務理事から、調布国際音楽祭と関連したところで駅前広場が変わり、来場者が増えたという御挨拶がありました。昨年11月の開催から半年後の変化として、2・3月の中で駅前広場の樹木がほとんど切られてしまいました。お祭りなどは開催されていますが、駅前広場の状況としては良くない方向に向かっているという認識を持っています。調布国際音楽祭を開催されたところではあるかもしれませんが、芸術・文化施策所管の職員も喜ぶべき状況ではないという認識でいただきたいと思います。

また、先ほど、グリーンホール席数が少なくなっても構わないという意見がありました。1,300席規模のホールは都内ではあまりなく、多摩に至っては更に少ない状況です。この規模のホールでの企画を考えたときに、グリーンホール大ホールがもしなければ、例えば、府中、多摩、八王子などに行ってくださいという状況になるのは調布市民としては非常に不幸な状況になってしまいます。1,300席規模のホールの維持が、築40年ですが、大事なことであると思います。

前回は「建て替え」に関する話題はありませんでしたが、本日は、「建て替え」という話題がキーワードで出ました。多摩地域であると、清瀬けやきホールでは、築34年で大規模改修を実施しています。先ほど専門家を入れるという話がありましたが、具体的には、清瀬けやきホールは、青木茂建築工房に発注し、「リファイニング建築」を実施しました。躯体は残しますが、それ以外は建て替えます。築40年で言うと耐震、バリアフリーの問題が大きいと思います。例えば、既存不適格建物であっても、「リファイニング建築」では建築確認まででき、古いから安易に建て替えをしなくても建物を維持できるという方法です。使用できなくなる期間はあるかもしれませんが、そういうこともあると思います。ただ、改修か、建て替えかという議論ではなく、清瀬けやきホールの方法で維持していくこともできます。清瀬けやきホールの場合は500席規模で規模が異なりますが、参考事例として、ぜひ御参考にしていただければと思います。

グリーンホールについては以上です。

次に、「要望事項等対応表」No. 3、LEDについてです。前回の利用者懇談会において、私が御提案したのは、工事が不要なLEDのランプがあります。そのLEDの管球を交換するだけで済むので、早く対応していただけないかという話をしました。回答は、

公共施設のため、器具の交換で考えていますとありました。ただ、この発言要旨を見ると、「大規模な工事となるため、調布市で実施することになりますので、市と協議してまいります」とあります。管球の交換という方法では、管球の部分だけで直管型の場合は電気代が約半分になります。

また、ダウンライトの形であった場合は、数分の1の使用量になるものもあるということで、昼間、できれば間引きという方法ではなく、設計上はその場で光らせるためにつくったものなので、電気代のかからないものがあるのであれば、早くそれに替えた方が良いと思います。例えば8～10時間使用するものであれば、早ければ早いほど良いので、前回の利用者懇談会でも前倒しの工事をお願いしました。こちらについては管球の交換で良いと思っていますが、平成31年度までの予定ということで知っていましたので、そちらの状況についてお伺いしたいです。

また、「要望事項等対応表」No. 8についても、前回の利用者懇談会で触れました。こちらは、東京電力が一番安価と回答がありました。こちらは確認事項で、「東京電力」の名前が付いた新電力もあるのですが、実際、東京電力そのものと契約しているのかどうかというところを確認をさせていただきたいと思います。

更に、「要望事項等対応表」No. 9も、前回の利用者懇談会で私が言ったところで、利用者懇談会に参加しようとして案内されている時間に会場へ行ったところ、もぬけの殻という状況が過去ありましたので、そういうことがないようにということでお願いをしたところ、「要望事項等対応表」に回答されています。ただ、「入場は開始1時間後まで」という案は、私の思いとしては不本意です。先ほどFの方もおっしゃっていましたが、例えば本日の場合は10時から12時で、仕事が終わって12時までであれば参加できるかもしれないから、その時間であれば自分の考えを伝えようと来るとも有り得、終了時刻までスタッフがいるようにしていますという回答がありましたが、1時間後までと記載されてしまうと、例えば今日、10時から12時までと書いたら、11時までに調布に戻って来られない人は、1時間後であれば来られないということで諦めになってしまうということで、不本意と思います。

開催時間内はスタッフがいるようにしているということであるならば、ぜひそのとおり、10時から12時に開催していますと案内していただきたい。時間内は係員がいるので、ぜひその時間内は気軽に来て、気づいたことをお話してくださいという書き方にしていってほしいかと思います。そちらは意見ですが、よろしく申し上げます。

○大割総務課副主幹

LED化についてお答えします。現在、照明器具のLED化も含めて調布市に平成31年度以降の工事を要望しています。市で平成31年度以降の計画を検討しているところで

す。  
また、電力会社の件についての御質問の趣旨は、東京電力自体と契約しているのかどうかということによろしいですか。

○Q

はい。

○大割総務課副主幹

正確に申しあげると、分社化されていますので、東京電力エナジーパートナーという会社と契約しています。

○Q

分社して、更に新電力になっている会社もあるので、そちらを確認させてください。

○大割総務課副主幹

東京電力が分社化されて、小売部門は東京電力エナジーパートナーが扱っているはずですので、こちらと契約しています。

○O

文化会館たづくり内に、コンビニエンスストアなど、昼食等気軽に食品を購入できるようなところがあればいいと常々思っています。平日は1階のレストランが11時半ぐらいからお弁当を販売しています。土日の販売はありません。また、販売時間が限られています。12時には売り切れてしまうことがあります。土日で雨の場合は、昼食用に何か買うところがあればいいと思います。

例えば、調布市内には作業所がいっぱいあります。ふあんふぁーれなど福祉協議会関係で2店以上パン屋があるので、売店だけでもいいです。スペースを取らないで、何か展開されればいいと常々思っています。検討していただければ幸いです。

また、先ほどから話題に出ていますように、市民の中には得意分野を持っている方がたくさんいらっしゃると思います。そのような才能や知識をできる限り吸い上げる仕組みがあればいいと思います。例えば、今年映画祭を開催するのであれば、パンフレットの中に来年の企画委員の募集や、そのような形で市民が参加しやすいような企画委員会を立ち上げるなどの形で吸い上げていけばいいかと思っています。



また、私は会議に遅れないことが原則だと考えています。遅れてくるのはいかがかと私は思うので、できる限り遅れないようにしています。しかし、やむを得ず遅れる場合は、いつでも構わないで良いと思いますが、原則遅れないことは一言書いた方が良くと思います。

更に、本日は、開始1時間経過後は扉を閉めていただきましたかったです。隣の部屋の音楽がうるさかったです。

ただ、参加したくても参加できない方の声を吸い上げる。それはパブリックコメントではないですが、御意見をいつでも受け付けるということをホームページにお知らせしておけば良いと思います。

調布駅前の連立事業の中で、グリーンホールもその中にまさしく存在しています。今回、木が駐輪場の工事ヤードの中と通路で合計56本伐採されました。その中で戻ってくる木が24本ありますが、半分以上は伐採され、木の命が絶たれました。これはグリーンホールの階段から見るとすごい光景であると思います。今までは森だったのです。そこがないということは、殺伐とした光景だと思います。グリーンホールは決して関係ないわけではないのです。

例えば、先ほど庁内横断的な連絡会を実施しているということでしたが、その頻度はどれくらいでしょうか。どのレベルのポジションが参加するのでしょうか。おそらく部長レベルだと思います。例えば、調布市都市整備部にお任せ、後はそこから決まったというお知らせを受けるだけであるという現実を幾つか見えています。

実は先月でしたか、鉄道敷地の向かい側にできる公園のことで説明会があったのですが、この公園が鉄道敷地の一番端にでき、その中間には何ができ、どういう意味があるのか、どういう連続性でなされるのかということまで質問しても答えられないのです。「〇〇だそうです」「〇〇のようです」と自信なさげに答えるわけです。それは庁内で合意ができているのだろうかと思います。例えば、ある公園だけを任せられる。他との連続性を考えずにつくっていい、トイレもどこかにできるからいいだろうとどこでもつくらないとか、そういうこともあり得るわけで、これについて私たちは非常に不安があります。

それで思うのは、例えば今回、最初に言いましたように、「要望事項等対応表」が出たのは本当にいいことであると思います。この中に、グリーンホールのことが2つ出てくるわけです。利用者懇談会を調布市都市整備部の方に見てもらうことはできないですか。それを私は検討していただきたいと思います。例えば、電気のことで出てきたら、その分

野の担当である営繕課があると思います。それは出席していただくと話が早く伝わり、直接伝えられるという感じがします。例えば、審議会などでも、役所から所轄の方針で、この議題でということをやることが多いみたいですが、中の審議委員の方から、ここに出てもらうようにしてください、駅前広場の説明をしていただきたいと言ったら、環境部に加え、臨時で都市整備部も出席します。そういう柔軟性が必要かと思いますので、ぜひ考えていただきたいと思います。このリストに明らかにあるわけです。今日はこの検討から始めたので、そのようなことを思いました。

○木村総務課長

御意見として承るということによろしいですか。

○○

はい。

○T

先ほど言い忘れてしまったのですが、会場の区分が午前、午後、夜間になって、それぞれ開始時間があります。鍵を開けていただくのは、その10分前なのですか、5分前なのですか。何分前ですか。5分前ですか。

例えば文化会館たづくり大会議場やグリーンホール小ホールなどは、施設に入室してから椅子を並べる必要があるのですが、5分前ではとても足りません。せめて10分前にしていただけませんか。先日は、5分前と言われました。

○大割総務課副主幹

利用時間について、例えば午前であれば9時から12時までですが、準備、片付けを含めてその時間内をお願いしますということにしています。5分前とか10分前というのは運用の問題で、スタッフが少し前に行くということにすぎないので、利用区分の中で準備、片付けを含めてお願いしています。

○T

本当なら9時に鍵を渡す。だけど、特別に5分前に開けている。

○大割総務課副主幹

特別というか、常識の範囲内で対応させていただいています。

○T

しかし、区分からすると、9時に開けてもらったら、様々な会合、少なくとも2時間半はかかりますから、9時半から始めるとして9時開場にしなければならないと、どうして

もその前に入らないと会合ができません。だから、実際問題としてそういう考え方は成り立たないと思います。何かまとまった会合をすると、少なくとも2時間半はかかります。そうすると、9時開場、9時半開会、12時退去です。退去の時間は厳格ですので、10分前には鍵が欲しいのです。それは要望としてお願いします。

また、トイレについて、今でも和式トイレの需要はあるのですか。

○大割総務課副主幹

和式トイレを洋式化するというのは、ある程度の予算と、1か所について1～2日ではできません。1週間ぐらい時間がかかりますので、計画的に少しずつ進めています。

○T

洋式化の方向なのですね。

○大割総務課副主幹

そういうことです。

○T

そういうことなら分かります。

○F

要望事項ですが、この懇談会の出席者を増やすために、財団報「ぱれっと」における利用者懇談会開催案内のスペースをもう少し取ってPRしていただきたい。この利用者懇談会の議事録と「要望事項等対応表」は、財団ホームページで「財団について」というところをクリックして、下へ辿って出るのですが、おそらくホームページを見て、討議内容や結果を見ている市民は、まずいないのではないかと思います。結局、市民が御覧になるのは財団報「ぱれっと」で、各戸に配布されるので利用者懇談会がどういうものかというのを判断すると思います。文化会館たづくり館内のエレベーター内に掲示していただいているが、実施したことによる効果のスペースをもう少し拡大して、財団にとって耳の痛いことも、財団報「ぱれっと」の中の記事として取り上げるようにしていただき、出席して市民の希望がこのように次々と取り入れてもらえることをぜひ実施していただきたいと思っています。

現状のスペースは小さ過ぎて、利用者懇談会のPRに余りなっていないと思いますので、よろしくをお願いします。

○O

フィードバックは、財団報「ぱれっと」でなされるのですか。

○土方事務局長

今おっしゃったのは、財団報「ぱれっと」に、利用者懇談会の宣伝をしてくださいという趣旨です。

○F

どういうことが提案されて、どのように対応しました。あるいは、そういう要望が取り入れられましたということをもっと市民にもう少し知っていただけたら、出席者は更に増えるというのが私の意見です。ここがかねがね申しあげているのですが、なかなか実行されなくてということなんです。

○O

では、ホームページにも引き続き掲載していただいて、議事録はいつ掲載されるのですか。

○木村総務課長

2か月いただいています。

○O

議事録には答えはないわけですね。

○F

議事録は、本日の内容は全部載っています。

○O

要望で検討しますと言われたことですか。

○土方事務局長

本日の内容の要約も掲載されます。

○O

それは、次回の直前ですか。

○土方事務局長

そうです。検討を要する、あるいは、市が持ち帰る場合もありますので、時間がかかる事項もあります。回答は2か月を目途に載せるようにしていますので、その時点までで分かった範囲で回答を載せます。

○O

分かりました。

○木村総務課長

よろしいでしょうか。

○Q

LEDについて平成31年度以降導入の話がありましたが、前倒しは検討されたのでしょうか。

○大割総務課副主幹

前回も申しあげましたが、当然御存知のように、直管の蛍光灯だけでも2,000～3,000あります。費用と期間を要しますので、前倒しというのは極めて困難と思います。

○Q

前回の回答の中で、地下の駐輪場など一部実施しているところもありますという回答であったと思います。よって、全部を同時に替えられるとは私も思っておりませんので、できるところから実施されてもいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

○大割総務課副主幹

老朽化の度合いは全て同じでありますので、一括で実施した方が良いと思います。

○Q

LED化というのは、老朽化の対策ではなく、電気代を下げるという対策です。

○大割総務課副主幹

老朽化と併せて省エネ化を図るとするのが正しい方法であると思います。

○Q

民間などは、既に推進し、それは早く対応した方が効果が出るからです。できるだけ早く実施した方がいい。管球の交換だけで済む場合は、自分が試算したところでは2年以内にペイします。電気代が半分になると仮定すると、そのようになります。公共施設の場合は予算などの兼ね合いもあると思います。よって、前倒しを検討してくださいという願いをしたのです。

○O

補正予算という手段も考えられます。

○大割総務課副主幹

施設は常に貸し出されています。一定期間かかりますので、平成31年度以降、市で検討されているということでもあります。

○M

今おっしゃっているのは、球を替えるのではなくて、管だけを替えるのであれば、例えばメンテナンスの途中からでも替えられるのではないかという話をこちらはされているように思います。

○大割総務課副主幹

公共施設ですので、そのような方法が本当に適切な電気工事であるか懸念しています。

○○

本件が「要望事項等対応表」にありましたので、調布市営繕課の担当者にも出席していただいた方がいいかもしれません。

○木村総務課長

御意見として承ります。

それでは、予定の終了時刻となりましたので、本日は多岐にわたり、貴重な御意見を頂戴しまして、ありがとうございました。今後の文化会館たづくり及びグリーンホールの運営に活かしてまいりたいと思います。

また、何人かの方からもいただきましたが、本日の場のような御意見をいただく機会についても、今後何かお気づきの点がありましたら、随時文化会館たづくり7階の事務室、またお電話、メールなどでも受け付けていますので、お気軽にお声をかけていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

なお、次回の利用者懇談会は、平成30年11月初旬の実施を予定しています。今後、当財団ホームページ、財団報「ぱれっと」などでお知らせしますので、お時間がございましたら御参加いただければと思います。

それでは、これもちまして、平成30年度第1回利用者懇談会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

——了——